

補助事業番号 24-4-054
補助事業名 平成24年度（復興支援）被災地域の調査活動補助事業
補助事業者名 公立大学法人秋田県立大学システム科学技術学部
建築環境システム学科 助教 渡辺真季

1 補助事業の概要

（1）事業の目的

震災からの復旧・復興において、土地利用や住宅再建など物理的整備の事業が急がれるが、その際、住民らは震災前の地域に定住するか、別の地域に移住するかの決断に迫られる。その決定要因の一つに生活の生業となる産業復興が挙げられ、住宅再建等と連動して取組まれることが望まれる。そこで、釜石市箱崎町箱崎地区を対象地として、住宅再建等と併せて産業復興を進捗させるためには、どのような産業支援があり得るのか、どのような課題があるか、について明らかにする。

（2）実施内容(URL:準備中)

①調査研究活動

i) 資料・文献調査

対象地の基本情報、被害状況、産業復興の支援状況について、データ収集と整理を行った。

ii) 現地踏査・視察

対象地の様子について、定期的に経過観察を行った。また、対象地周辺を含めた東北地方太平洋沖沿岸部の被災地や過去の震災被災地の視察を行い、現状を確認した。

iii) アンケート調査

対象地の住民に対して、箱崎地区の将来構想や産業の展望についてアンケート調査票を配布し、回答を得た。

iv) 聞き取り調査

対象地の復興まちづくり協議会(以下、協議会)と定期的な打合せを行い、復興の進捗状況、復興に対する住民らの意向などを確認した。また、漁業関連の上位組織に対して、漁業に関する被災前後の状況について聞き取り調査を行った。さらに、過去の震災被災地の自治体に対して現地視察を行い、被害状況やこれまでの復興の取組などについて、震災復興の事例としてとりまとめた。

②支援活動

・協議会との定期的な打合せにおいて、①調査研究の各種調査結果を報告し、情報提供を行った。また、打合せや①iii)アンケート調査の時に、行政の支援

事業など対象地の住民が活用できる制度等を紹介した。

・①iii)アンケート調査と①iv)聞き取り調査によって、対象地の住民の意向を確認し、取りまとめを行った。また、これら住民の意向をまちづくりに反映させるべく、復興計画案を用いて今後の対象地の将来像について議論した。



協議会との打合せ(左：2013.3.19 右：2013.9.21)



箱崎町箱崎地区の様相の変化(左：2012.10.21 右：2013.9.21)



震災復興の事例(左：復興住宅(輪島市) 右：養鯉施設(長岡市山古志地域))

2 予想される事業実施効果

昨今、行政の復興計画案、特に住宅再建、復興住宅に関する議論がようやく落ち着きを見せつつある。これを受けて、被災地の住民らの意識、関心は個人的な範疇から地域に向かいはじめている。対象地でも居住系建築禁止地区を産業復興活用できないか、などの議論が行われるようになり、今後ますます産業復興にむけた取組が加速していくことが予想される。引き続き、過観察調査と協議会への支援を行い、適宜、必

要とされる調査研究と支援活動を行っていく予定である。

3 本事業により作成した印刷物等

震災被災地の復興事例(URL:準備中)

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 秋田県立大学（アキタケンリツダイガク）

住 所： 〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

代 表 者： 助教 渡辺真季（ワタナベ マキ）

担 当 部 署： システム科学技術学部（システムカガクギジュツガクブ）

電 話 番 号： 0184-27-2061

F A X： 0184-27-2186

E - m a i l： m_watanabe@akita-pu.ac.jp

U R L： 準備中